

沖縄平和ネットワーク関西の会

第4回学習会のお知らせ

普天間問題の真相

抑止力とは

なぜ沖縄に基地が集中するのだろうか。合理的な理由が思いつかない。「なぜ」ではなく、「沖縄だから」「沖縄なら」ということだろう。安保は大事というが、負担を押し付けて平気な圧倒多数がいる。「沖縄でなくても」を認知したとき、切り捨てる国家意思に突き当たる。

日米同盟強化をもくろむ菅政権。県民の声を踏みにじろうとする動きに対して、11月の沖縄県知事選挙では県民の力によって「県内に新基地は作らせない」と現職に言わせるまでに追い込みました。これからは県内に新基地を作らせない新たな闘いを展開しなければなりません。そこで、今回は沖縄タイムス社で基地問題の取材に取り組んでこられた屋良朝博さんにお越しいただいて、そもそも基地はなぜ沖縄でないのだめなのか？沖縄に基地を置く本当の理由とは？など、縦横に語っていただきます。みなさんぜひご参加ください。

講師 **屋良朝博さん**（沖縄タイムス社論説委員）

1962年 沖縄に生まれる。フィリピン国立大経済学部卒、1988年沖縄タイムス社に入社。93年～96年政経部基地担当、97～98年東京支社で防衛庁や官邸、国会などを担当。2007～08年ハワイ東西センター客員研究員。09年より現職。著書に『砂上の同盟』（沖縄タイムス社）

とき：1月22日（土）午後2時半～

開場午後2時

ところ：エル・おおさか504号室

地下鉄谷町線・京阪「天満橋」下車5分

参加費：1000円

問い合わせ：沖縄平和ネットワーク関西の会（同志社中学校：竹山）TEL.075-781-7121